
フナムシの唄

あれっくす

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

フナムシの唄

【Nコード】

N4192U

【作者名】

あれつくす

【あらすじ】

七十になる私は故郷に帰った。

(前書き)

高校生の自分が書くのは変な気がします。

私はフナムシが嫌いではない。むしろ好きだ。波にさらわれるのを恐れてザワザワと逃げ回る音、家の壁をコソコソと這い回る音、そして登った壁からポトンと落ちる音は私をこの上なく和ませる。もう私も七十になるが、用事のない日は一日中眺めていても飽きない。

私は今年の夏からこの家に住んでいる。海のそばに立つ船屋で、幼少期はここで育った。若い頃の記憶は今でもまだ鮮明に残っていて、ときどきフナムシを見ながら思い出したりもする。

若い頃はそれほど好きではなかった。床を歩き回っても見向きもしなかった。寝ているときに体の上に乗られても、気にする様子もなく寝続けられる自信があった。それはまるで空気だった。

私が青年だったある日、浅い眠りから覚めた頭の下に違和感があった。跳ね起きてそれを見てみると死んで粉々になったフナムシだった。一瞬だけ気の毒な気持ちになったが、若い私はすぐに髪の毛の心配をし始めた。小さな命はゴミ箱に葬られた。

この家に住むきっかけとなったのは父の死だ。結婚をしていない私の肉親は父だけだった。妹がいたが六年前に死んだ。母もその翌年に亡くなった。そして父も今年の春に天に召された。一番不健康な父がその娘より後というのはどうも神様の皮肉のようにはしか思えなかった。

葬式の喪主は私が務めた。生前顔の広がった父なので葬式の参列者は妹や母よりは多いだろうと予想したが、そこまで多いわけでもなく、もしかしたら少なかったかも知れない。死人に口なしということわざが浮かんだ。

私はふるさとに帰ることを決めた。年金暮らしの始まっていた私に家賃を払いながら生活する能力はない。それに父がいなくなつた今、先祖の墓を護れるのは私だけだった。使っていた家財道具を売

り払い、単身で引越しを済ませた。

この家に戻ってきて気付いたことがある。私は若い頃、とりわけ十代後半の頃は虫が妙に嫌いだっただ。フナムシ以外の虫は目に触れることさえ嫌がった。ゴキブリがよく出る家なので出るたびに早く独り暮らしをしたいと思っていた。

幼い頃はそうではなかった。ゴキブリを意識して見ることはなかったし、フナムシと同程度に思っていた。つまりはただの虫だったのである。

最近になってゴキブリにも寛容になれるようになった。同居人として殺し合いなどがあつてはならない。ましてや私からの一方的な殺戮があつてはならない。それはフナムシについても一緒に、寝る前は必ず枕を確認するようにしている。

こうなつたのは死が近づいたからだろうか。父が死んでから、より一層身近に感じるようになった。私はもうじき死ぬのだ。その前のささやかな時間をここで消化する。この生まれ育つた船屋で、フナムシと一緒に最後の刻を過ごす。

私は足音を聞いていた。他でもない死の足音だ。それはフナムシと共にやってきて波を避けるかのように去っていく。私の親もその親もそうしてこの世を去った。今度は私の番、今まで眺めるだけだったフナムシの中で私は波にさらされた砂城のように溶けていく。それはちょうどフナムシの大きさまで浸食され、海に帰っていった。

(後書き)

お読みいただきありがとうございます。今回はホラーをやめて文学に挑戦しました。何かによく似ていたらごめんなさい。文学はあまり読まないのかぶっついていない自信はありません。一時間で書き上げたので短かくてすいません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4192u/>

フナムシの唄

2011年10月6日18時01分発行